

実施校 上越市立富岡小学校

学年・人数 4年生・14名
実施日 平成30年10月4日（木）

関川の水は何に使われているんだろう？ 魚道ってなに？

富岡小学校4年生が工業用水と魚道について学びました。

日 時：平成30年10月4日(木)9:30～11:30

場 所：上越利水事務所、工業用水取水堰

参加者：上越市立富岡小学校4年生 14名

内 容：1) 講義：工業用水と取水堰について、取水堰にある魚道の役割について

2) 見学：工業用水浄水場・取水堰と魚道の見学

概 要：はじめに、新潟県上越利水事務所会議室で、工業用水浄水場・取水堰と魚道の役割についての講義を受けました。講義では、取水堰のしくみ、水の利用方法、魚道の形や利用する魚の種類などを学びました。生徒の皆さんはメモを取り、質問するなど、とても真剣な様子でした。

講義のあとは、実際に工業用水浄水場・取水堰と魚道の施設を見学しました。生徒の皆さんは間近で施設を見学し、その役割について一層の興味を持った様子でした。

● 出前講座の様子（講義）



講義の様子



講義の内容について質問する様子

〈生徒の皆さんからの質問〉

Q1 取水堰にある赤い壁はなんですか？

A2 取水堰より上の水の高さを調整するゲートです。川の水の量が少ないときには閉めて、多いときは開けることで水の高さを一定にしています。

Q1 堰の下川の底はなんで凸凹しているのですか？

A2 堰の下は、段差があるので水が滝のように勢いよく流れます。この勢いで川の底が削られないようにコンクリートのブロックを置いています。

実施校 上越市立富岡小学校

学年・人数 4年生・14名
実施日 平成30年10月4日（木）

● 施設見学の様子



新潟県上越利水事務所屋上から浄水場を見学



取水堰と魚道を間近で見学



堰にある魚道の説明



記念撮影